



令和6年 2月7日
 富士市立伝法小学校
 校長 鳥居 朝野

新しい年が始まり、1か月が経ちました。令和5年度も終わりに向かい、一日一日が疾風のごとく過ぎ去っていきます。保護者の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、12月には「教育に関するアンケート(保護者回答)」にご協力くださり、ありがとうございました。前期と比べ子供たちがどのように変化したか、本データを分析し、来年度に向けての教育活動に生かしていきたいと考えております。集約結果をお配りいたしますので、ご家庭でもご一読ください。お子様と一緒に目を通しながら1年間の成長を振り返り、来年度につながる励ましをしていただけますようお願いいたします。

令和5年度 教育に関わるアンケート結果(前期)

肯定・・・評価A(そう思う)+評価B(どちらかと言えばそう思う)分析 ○:満足(80%以上肯定)						
否定・・・評価C(あまりそう思わない)+評価D(そう思わない) ▼:課題(50%以上が否定)						
番号	評価内容(カッコ内は教職員)	対象	R4肯定割合	R5肯定割合(前期)	R5肯定割合(後期)	分析
1	子供たちは、楽しく学校生活を送っている。	児童	95%	97%	97%	○
		保護者	98%	99%	97%	○
		教職員	97%	100%	100%	○
2	子供たちは、伝法小学校と吉原小学校、吉原第一中学校は、「あこがれ・チャレンジ・笑顔」という同じ学校教育目標になっていることを知っている。(目標を意識して生活している。)	児童	81%	84%	89%	○
		保護者	84%	89%	93%	○
		教職員	79%	94%	97%	○
3	子供たちは、重点目標「心をつなごう」～自分からやってみよう～を意識して学校生活を送っている。(「心をつなごう」～自分からやってみよう～に向けて教育活動に取り組んでいる。)	児童	88%	90%	90%	○
		保護者	74%	81%	84%	○
		教職員	96%	94%	90%	○
4	子供たちは、自分が住んでいる地域が好きである。家庭で、地域のよさを話題にすることがある。	児童	96%	99%	97%	○
		保護者	40%	46%	46%	▼
		教職員	75%	97%	97%	○
5	地域の人や、学校のために活動をしていることで、学びや学校生活がよりよくなっている。(地域の人・もの・社会と関わりを深めている。)	児童	97%	99%	99%	○
		保護者	94%	97%	97%	○
		教職員	79%	97%	97%	○
6	子供たちは、だれにでも進んであいさつができています。	児童	89%	91%	91%	○
		保護者	82%	84%	83%	○
		教職員	64%	75%	84%	○
7	子供たちは、「ほかほか言葉」を使って話している。	児童	91%	90%	89%	○
		保護者	81%	81%	80%	○
		教職員	82%	78%	71%	○
8	子供たちは、悩みや困ったことなどを相談できる人がいる。(悩みや困ったこと相談している。)	児童	86%	91%	91%	○
		保護者	93%	96%	95%	○
		教職員	93%	100%	97%	○
9	子供たちは、生活が楽しくなるように工夫して生活している。	児童	調査なし	92%	92%	○
		保護者	調査なし	91%	92%	○
		教職員	調査なし	91%	97%	○
10	子供たちは、自分がされて嫌なことを友達にしないで生活している。	児童	調査なし	93%	91%	○
		保護者	調査なし	90%	90%	○
		教職員	調査なし	72%	74%	○
11	自分たちの学校がきれいになるよう、進んで掃除をしている。家庭で、自分が使った場所をきれいにしている。	児童	94%	96%	96%	○
		保護者	56%	61%	56%	○
		教職員	82%	72%	81%	○
12	子供たちは、自分にはよいところがあると思っている。(よさを認め励ますために意図的な関わりや場面を設定している。)	児童	83%	90%	87%	○
		保護者	91%	91%	94%	○
		教職員	93%	100%	100%	○
13	授業が楽しい。(子供たちは、楽しく行っている。)	児童	調査なし	95%	96%	○
		保護者	調査なし	93%	92%	○
		教職員	調査なし	94%	97%	○
14	子供たちは、授業(学習したこと)が分かっている。	児童	92%	93%	95%	○
		保護者	86%	87%	86%	○
		教職員	89%	88%	94%	○
15	子供たちは、自分の考えを友達にわかりやすく話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしている。(自分の考えをわかりやすく話したり、話を最後まで聞いたりする力が付いてきている。)	児童	91%	93%	93%	○
		保護者	77%	78%	77%	○
		教職員	72%	69%	78%	○
16	子供たちは、チャレンジノートなど、自分から進んで学習に取り組んでいる。家庭で学習する「宿題を含む」習慣がある。(家庭で学習する習慣が身に付いている。)	児童	81%	81%	84%	○
		保護者	89%	87%	85%	○
		教職員	86%	90%	87%	○
17	子供たちは、分からないことや疑問に思ったことを、友達や先生に訊いている。	児童	87%	89%	86%	○
		保護者	78%	72%	79%	○
		教職員	82%	91%	97%	○
18	子供たちは、学校・家庭でタブレットやパソコンなどを使って学習している。(ICT機器を活用して授業を行っている。)	児童	92%	83%	84%	○
		保護者	67%	調査なし	81%	○
		教職員	79%	91%	94%	○
19	子供たちは、めあてをもって運動に取り組んでいる。	児童	91%	88%	88%	○
		保護者	90%	91%	70%	○
		教職員	97%	100%	97%	○

肯定・・・評価A(そう思う)+評価B(どちらかと言えばそう思う) 否定・・・評価C(あまりそう思わない)+評価D(そう思わない)		分析○:満足(80%以上肯定) ▼:課題(50%以上が否定)				
20	子供たちは、毎日「早寝・早起き・朝ご飯」ができています。家庭で「早寝・早起き・朝ご飯」を意識した生活を送っている。(規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、取り組んでいる。)	児童	79%	83%	83%	○
		保護者	89%	91%	86%	○
		教職員	89%	94%	90%	○
21	子供たちは、毎日の給食を好き嫌いしないで食べている。家庭で食事のとき、好き嫌いをせず食べている。(苦手な食べ物でも、少しは食べられるようになったり、食の大切さを感じたりしている。)	児童	82%	83%	85%	○
		保護者	70%	70%	71%	○
		教職員	79%	88%	87%	○
22	子供たちは、きまりを守ってけがをしないよう安全に生活している。	児童	91%	94%	92%	○
		保護者	88%	93%	94%	○
		教職員	71%	81%	81%	○
23	子供たちは、もしものときに自分の命を守るために考えて行動することができる。	児童	93%	97%	96%	○
		保護者	96%	84%	87%	○
		教職員	93%	96%	94%	○

集計結果について(考察)

よいあらわれ

◎学校が楽しいについて 設問1・3・9・12

前期に引き続き、「学校が楽しい。」と感じている割合が3者ともに高い数値となっています。また、楽しいだけではなく「自分たちから生活が楽しくなるように工夫している」という項目でも前期よりも3者とも高い数値になっています。創立150周年を迎えるにあたり、学校では「子供発」を合言葉に多くの地域の皆様とともに、様々な活動を展開してきました。年間を通して、子供たちの取組を認め、励まし、価値づけるとともに、自分の取組を振り返り、それを通して自己効力感や自己有用感を高められたことも学校が楽しいと感じられた要因と考えられます。その結果「自分にはよいところがある。」という項目においても、令和4年度より高い数値となっています。令和6年度も、勉強や運動、友達と仲良く過ごすことを楽しむ子供たちを、支えていきます。



◎学習関連について 設問13・14・15・16・18

「授業で学習したことが分かっている。」と感じている割合が3者とも高い数値となっています。学校での主たる活動は学習です。学習が充実し、学びが深まるように授業では、年間を通して、ペアやグループ学習を積極的に取り入れ、どの子も誰とでも考えを聴き合う中で、考えをすり合わせ、自分の考えや疑問をもち、追究する力を培いながら学び合う楽しさを実感できるように授業を実施してきました。また、まだ十分とは言えませんが、聴くことについても数値は伸びてきています。落ち着いた環境で、学びを深めていく習慣が身に付いてきています。

「家庭でタブレット等を活用して学習している。」という項目について保護者の数値が令和4年よりも14%伸びています。ICTを学びを深めるひとつのツールとして活用することができていることが分かります。

改善したいあらわれ

○地域とのかかわりについて 設問4・5

「子供たちは、自分の住んでいる地域が好き。」と感じている子供と教職員の割合がとても高い数値となっていますが、「家庭で、地域のよさを話題にすることがある。」という項目の保護者の割合がとても低いです。アンケートの保護者のコメントで「ホームページ等を楽しみにしています。学校の様子が分かります。」というご意見をいただきました。

学校では、年間を通して、地域の方や保護者の皆様に授業に入っただき、本物との出会いや体験活動などを取り入れ、豊かな学びを実現してきました。また、学校だよりやCSだより、ホームページ等を活用して地域の皆様とのかかわりをお伝えしています。ぜひご覧になり、ご家庭でも地域のよさを話題にさせていただき、地域、家庭とともに歩む学校づくりにご協力をお願いします。

○安全な生活について 設問22・23

「きまりを守ってけがをしないよう安全に生活している。」では、子供と保護者の数値はほぼ90%と高いのですが、教職員の数値は令和4年度より10%高くなりましたが80%となっています。学校では、定期的いきまりの確認をしたり、安全点検を実施したりして、子供たちが安全に過ごせるよう取り組んでいます。また、「もしものとき、自分の命を守るために考えて行動することができる。」という項目についても3者ともに高い数値になっています。1月に行われた避難訓練では、まだ多少の課題はありますが、真剣に訓練に取り組むことができました。ご家庭でも、引き続き、危険予知力を高めるなど「こうなったらどうなる。」と自分で想像できることや判断することの大切さを話題にさせていただき、安全に心掛けて生活できるように声掛けをお願いします。

心掛けていきたいこと

○あいさつ、ほかほか言葉、友達とのかかわりについて 設問6・7・10

「誰にでもすすんであいさつができています。」では、後期においても3者ともに昨年度より高い数値になっています。地域の方より「気持ちのよいあいさつができています。」「低学年に優しく接する高学年の子がいた。」等のご意見をいただきました。学校だけにとどまらず、あいさつの輪を広げ、心をつないで学校生活を送っていることが分かります。また、心をつなぐために言葉づかいもとても重要です。自分自身の発言や行動を振り返り、社会性を身に付けていくためには、学校と家庭で協力して取り組んでいくことが肝要だと考えます。引き続き、他者を思いやる想像力や判断力、コミュニケーション能力が子供たちに育まれるよう引き続き支援してまいります。

○「早寝・早起き・朝ご飯」について設問20・21 ※伝法小学校が重点として子供たちに指導している項目です。

上記以外に、設問20「規則正しい生活習慣」や設問21「食べ物の好き嫌い」についても、重点を置いて子供たちに指導してきたことです。校長先生をはじめ、各クラスでも各学年の子供たちに合わせて、繰り返し呼びかけています。この年度末に、子供たちの健やかな成長のため、規則正しい生活の必要性和意味を今一度、ご確認ください。

○設問20の「早寝・早起き・朝ご飯」については、基本的な生活習慣は、安定した精神や集中力の基盤となります。特に睡眠は、精神の安定、免疫力を高めるなど前向きに生きる力を支えているため、小学校時代に身に付けていくことが重要です。

○設問21の「食事」についても同様に、偏った栄養摂取や朝食欠食など食生活の乱れは成長期の子供たちの健康に大きな影響を及ぼします。バランスの良い食事を心がけ、規則正しい生活をするには、抵抗力や免疫力を高める点でも大切です。



食に関する正しい知識と望ましい生活習慣を身に付けることができるよう、給食の時間を中心に、学校においても積極的に食育に取り組んでいきます。引き続き、学校と家庭と両輪で、子供たちの意識を高め、実践力が育まれるよう、支援をよろしくお願いいたします。

令和6年度も、保護者の皆さま、地域の皆さまとともに、様々な場面で頑張っている子供たちの姿を認め、励まし、子供たちの力をさらに引き出すことができるよう、職員一同努力してまいります。